

アゲハ (ナミアゲハ)



アゲハチョウ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：4～10月

黄色いはねに黒の筋すじもようがあるアゲハチョウです。幼虫はナツミカンやサンショウなどのミカン科の植物しよくぶつの葉を食べ、成虫は花のみつみつを吸います。

◆ 広げたはねの幅：6.5～9cm

アオスジアゲハ



アゲハチョウ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：4～10月

はねの青いもようがよく目立つアゲハチョウです。高い木の上などを素早く飛んでいるのを見かけます。公園などの花に、みつを吸いにやってきます。

◆ 広げたはねの幅：5.5～6.5cm

クロアゲハ



アゲハチョウ科



- 見つけやすさ：★★★
- 見られる時期：4～10月

全身が黒い色をしたアゲハチョウです。林の中の、やや日かげの場所をゆったりと飛びます。幼虫はアゲハと同じく、ミカン科の植物の葉を食べます。

◆ 広げたはねの幅：9～11cm

モンシロチョウ



シロチョウ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：3～11月

白いはねに黒い紋もん(もよう)があるのでモンシロチョウ。明るい草はらで花から花へとひらひら飛びます。幼虫はキャベツなどアブラナ科の植物しよくぶつの葉を食べます。

◆ 広げたはねの幅：3.5～4.5cm

キタキチョウ (キチョウ)



シロチョウ科



- 見つけやすさ：★★★
- 見られる時期：1年中

鮮やかな黄色いはねをしたチョウ。年に2回発生し、秋に成虫になったものはそのまま冬を越します。あたたかな日には、日だまりを飛んでいることもあります。

◆ 広げたはねの幅：3.5～4.5cm

ツマグロヒョウモン



タテハチョウ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：4～11月

ヒョウ柄がらのような、オレンジ色に黒い斑点はんでんのはねをもったチョウです。コスモスなどのみつを吸いによくやってきます。メスは、はねの先が黒いのが特ちょうです。

◆ 広げたはねの幅：6～7cm

ヤマトシジミ



シジミチョウ科



●見つけやすさ：★★★★

●見られる時期：3～11月

小さなチョウで、街なかなど身近なところでも見られます。花にとまったとき、はねをすりあわせるなど、かわいらしい行動をとります。

◆広げたはねの幅：2～3cm

イチモンジセセリ



セセリチョウ科



●見つけやすさ：★★★

●見られる時期：5～10月

地味な色合いです。大きな目がチャームポイントです。せわしく花の間を飛びながらみつを吸います。幼虫はイネ科植物の葉を食べます。

◆広げたはねの幅：3.4～4cm

キムネクマバチ (クマバチ)



ミツバチ科



●見つけやすさ：★★★

●見られる時期：4～10月

体つきも、飛ぶときの音も大きいので怖がられますが、おとなしいハチで、いたずらをしなければ刺されません。フジの花などさまざまな花を訪れます。

◆頭から腹部の先まで：2.3cm

コラム③

夜の観察に出かけてみよう！

夜の生きもの観察は夏がおすすめです。

昼とは違った、夜行性の生きものが見つかるかもしれません。

開けた草むらや川の上空

日没後、アブラコモリがパタパタとせわしなく翼を動かしながら飛び回り、小さな昆虫を探していることがあります。

木の上

羽化しようとしているセミの幼虫が見つかるかもしれません。

照明のまわり

光に集まる性質を持つ、ガや甲虫の仲間が飛んできます。明かりが多い都市部では、ビルの窓ガラスの周りも注目ポイントです。

地面

土や落ち葉が多い公園などでは、アズマヒキガエルが歩いていることがあります。アズマヒキガエルはミズやダンゴムシ、ときには羽化するために出てきたセミの幼虫などを食べます。

鳴き声

夏遅くから秋にかけては、コオロギの仲間が鳴いているかもしれません。

木の上からは「リーリーー」や「チッチッチ」、草むらからは「リッリッ」など、様々な音が聞こえます。



アオマツムシ

リーリーー

イメージ図

チッチッチ



カネタタキ

リッリッ

ハラオカメコオロギ

気を付けること

- 生きものを驚かさないよう、静かに観察しましょう。
- 過度なフラッシュ撮影や懐中電灯の使用は控えましょう。白い光は夜行性の生きものにとってストレスになります。懐中電灯に赤いセロハンを貼ることで、光を和らげ、生きものに配慮しながら観察することができます。
- 立ち入り禁止の場所には入らないようにしましょう。
- 虫さされに気をつけ、なるべく長袖、長ズボンで出かけましょう。



な か ま
ギンヤンマの仲間

ギンヤンマ



クロスジギンヤンマ

ヤンマ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：5～9月

どちらも鮮やかな黄緑色と水色が目立つ、大型のトンボです。ギンヤンマは明るい水辺、クロスジギンヤンマは少し暗い水辺を好みます。

- ◆ 頭から腹部の先まで：6.5～8cm

オオシオカラトンボ



オス



メス

トンボ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：4～10月

シオカラトンボより少し大きいのが名前の由来です。オスは濃い水色、メスは腹部に黄色い部分があります。木におおわれた、少し暗い池などでみられます。

- ◆ 頭から腹部の先まで：5～6cm

アキアカネ



トンボ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：6～11月

赤とんぼのなかまです。初夏に羽化した成虫は、山へ移動して夏の間を過ごし、秋になると田んぼなどにもどって産卵します。オスの腹部だけが赤くなります。

- ◆ 頭から腹部の先まで：3.5～4cm

な か ま
カマキリの仲間

オオカマキリ

ハラビロカマキリ

はねに白い点がある

カマキリ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：7～11月

オオカマキリはおもに草はらで、ハラビロカマキリは木の上で暮らしています。どちらも肉食で、チョウやハチなどを待ちぶせしてとらえます。

- ◆ 頭から腹部の先まで：4.5～9cm

シオカラトンボ



オス

メス

トンボ科



- 見つけやすさ：★★★
- 見られる時期：4～10月

ちょっとした水辺でもやってくるトンボです。オスは胸や腹が白い粉におおわれます。メスは黄色で、「ムギワラトンボ」と呼ばれます。

- ◆ 頭から腹部の先まで：4.5～6cm

な か ま
バッタの仲間

オンブバッタ

ショウリウバッタ

オンブバッタ科



バッタ科

- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：6～11月

オンブバッタは体の形がひし形で、ショウリウバッタは細長いです。オンブバッタはキク科の葉などを、ショウリウバッタはイネ科の葉を食べます。

- ◆ 頭からはねの先まで：2～8cm

アブラゼミ



セミ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：7～9月

茶色いはねをしたセミで、街なかの公園でも見られます。鳴き声は「ジリジリジリ…」と、油を熱したときの音に似ているといわれています。

◆ 頭からはねの先まで：5～6cm

ミンミンゼミ



セミ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：7～9月

「ミンミン」とよく知られた声で鳴きます。体に、きれいな緑色のもようがあります。はねはすき通っていて、ところどころ小さな黒い点があります。

◆ 頭からはねの先まで：5～6cm

クマゼミ



セミ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：7～8月

アブラゼミなどにくらべると大きいセミです。体は黒く、はねは透明です。「シャアシャア…」という声で鳴きますが、ほとんどが午前中だけです。

◆ 頭からはねの先まで：6～7cm

ヒグラシ



セミ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：6～9月

早朝や夕方に「カナカナカナ…」と鳴きます。アブラゼミなどより小さなセミです。薄暗い林に多いですが、都市の公園でもたまに声を聞くことがあります。

◆ 頭からはねの先まで 4～5cm

アオドウガネ



コガネムシ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：3～11月

金属のように光る緑色をした中型のコガネムシの仲間です。公園や庭にあるさまざまな植物の葉を食べます。夜、明かりに飛んでくることがあります。

◆ 頭から腹部の先まで：2～2.5cm

ナナホシテントウ



テントウムシ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：3～11月

赤いはねに七つの黒い点もようがあります。幼虫も成虫も、農作物や園芸植物を弱らせてしまうアブラムシを食べるので人間に役立つという意味で「益虫」と呼ばれます。

◆ 頭から腹部の先まで：0.5～0.8cm

スズメ



スズメ科



- 見つけやすさ：★★★
- 見られる時期：1年中

人間のそばでくらして、山おくでは見られません。古い家のすき間などに、かれ草などで巣を作ります。新しくすき間がない家では、巣がつくれなようです。

◆ くちばしから尾まで：14.5cm

ウグイス



ウグイス科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：11～4月

うす茶色の地味な鳥です。ウメの花によくやってくるのは、本当はメジロで、昔の人がまちがえたようです。「ホーホケキョ」というさえずりは有名です。

◆ 大きさ：スズメくらい

メジロ



メジロ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

目の周りが白いのが名前の由来です。頭から背なか、尾が黄緑色で、よくウグイスとまちがえられます。甘いものが好きで、ウメやサクラの花のみつなどを吸いにきます。

◆ 大きさ：スズメより小さい

ジョウビタキ



ヒタキ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：11～3月

オスにもメスにも翼に白い紋があるので「もんつき鳥」とも呼ばれます。オスはおなかのオレンジ色が目立ちます。家のアンテナのような高いところによくとまります。

◆ 大きさ：スズメくらい

コゲラ



キツツキ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：1年中

スズメくらいの小さなキツツキで、背なかのしましまが特ちょうです。オスには目の上に小さく赤い羽が生えています。「ギー、ギー」とかわった声で鳴きます。

◆ 大きさ：スズメくらい

シジュウカラ



シジュウカラ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

白いほほやネクタイのようなむねの黒い線が特ちょうです。「ツツピー、ツツピー」とさえずります。木の穴のようなすき間に巣を作りますが、巣ばこもよくつかいます。

◆ 大きさ：スズメくらい

ツバメ



ツバメ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：4～9月

家や駅などに泥をはこんで巣を作ります。人のそばにいと、カラスがやってこないことを知っているようです。子育てが終わると、東南アジアに帰っていきます。

◆ 大きさ：スズメくらい

ハクセキレイ



セキレイ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

体の色は白黒で、尾が長く、とてもスマートな鳥です。歩きながら、よく尾をふっています。芝生や川、グラウンド、駐車場のようない場所にやってきます。

◆ 大きさ：スズメより少し大きい

ツグミ



ヒタキ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：11～4月

シベリアから冬をすごすためにやってきて、春になると帰っていきます。背なかの赤茶色が特徴です。木の実を食べたり、地面で虫をさがします。

◆ 大きさ：スズメとハトの間くらい

ムクドリ



ムクドリ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：1年中

体全体が黒っぽく、オレンジ色のくちばしと足が特徴です。群れになることが多く、時にはニュースになります。「キュルキュル」などとさわがしく鳴きます。

◆ 大きさ：スズメとハトの間くらい

ヒヨドリ



ヒヨドリ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：1年中

全身は灰色で、ほほのあたりが赤茶色です。「ヒーヨ、ヒーヨ」と大きな声で鳴きます。甘いものが好きで、ツバキやサクラなどの花のみつを吸います。

◆ 大きさ：スズメとハトの間くらい

ハトの仲間



ハト科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：1年中

キジバトは昔から日本にすんでいます。カワラバトは人間が外国から運んできました。キジバトは庭や公園、林などで、カワラバトは街なかでよく見られます。

◆ くちばしから尾まで：33cm